



6/23 にこにこ会によるマスク贈呈

にこにこ会の会員の方から、日頃の活動を通して関わりのある市の職員に手作りマスクを使って欲しいと、寄贈していただきました。市民保健課を主とした職員が使用させていただいております。



7/14 がんばれ！サーフィン日本代表

下田中学校で市内の4中学校の全生徒など約500人のメッセージが書かれた国旗を、同校生徒会から同校卒業のプロサーファーで五輪日本代表コーチの大野修聖さん、日本サーフィン連盟理事長の酒井厚志さんへ手渡しました。



7/17 友好の証

市民文化会館前に沼田市との姉妹都市友好提携50周年記念として植樹したリンゴの木に今年も実がなりました。コロナウイルス感染の影響が落ち着き交流を再開できることを願います。



7/9 健康福祉と感染症対策グッズ寄贈

セキトランスシステム株式会社様から、非接触型トイレトペーパーホルダー、杖立てを寄贈していただきました。新型コロナウイルスワクチン接種会場や市庁舎等での使用させていただいております。



7/14 叙勲伝達式

元市議会議長の森温繁さん（故）に旭日小綬章と従五位（死亡叙位叙勲）、元市収入役の鈴木登さんに瑞宝双光章（高齢者叙勲）を伝達しました。式には、森さんの妻佑子さんと母登茂子さん、鈴木さんと長女枝良香さんが出席されました。



7/19 思いやり助け合いの心

白浜小学校児童会では、熱海市伊豆山土砂災害により被害を受けた方を支援するため、募金箱を設置しました。集まった義援金43,926円を児童会役員から手渡され市を通じて被災地へ届けられます。

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎02200



年齢別ルームのお知らせ

9月から3月まで毎月1回半日（午前）ずつ、同年齢（名札の色）で集まって遊ぶ日を設けます。同じ年齢のお子さんを持つ保護者同士で情報交換、親子同士でふれあう場としていただければと思います。年齢ごとの呼び名は表記のとおりです。実施日については変更になることもありますので、確認の上ご参加ください。

めだかルーム	未歳児：橙色名札	R3.4.2 生～
第1水曜日	0歳児：桃色名札	R2.4.2 ～ R3.4.1 生
あひるルーム	1歳児：黄色名札	H31.4.2 ～ R2.4.1 生
第2水曜日	1歳児：黄色名札	H31.4.2 ～ R2.4.1 生
うさぎルーム	2歳児以上：水色名札	H30.4.2 ～ H31.4.1 生
第3水曜日	2歳児以上：水色名札	H30.4.2 ～ H31.4.1 生



誕生会

交通安全教室

ギラギラと照りつけるような日差しに夏本番を感じますね。体温調節が十分に発達していない子どもたちは、熱中症の危険性が大人よりも高まります。こまめな水分補給を心がけましょう。子どもたちの大好きな水遊びも本番です。7月13日から支援センターでの水遊びが始まりました。

水遊びは心も体も開放してくれますが、ちょっとしたことが事故につながることもあるので、安全面では十分な配慮が必要です。水深10cmでも事故は起きると言われています。ご家庭のお風呂場やビニールプールで遊ぶ時も、お子さんから目を離さないように気をつけましょうね。そして、夏の遊びを楽しんでいきましょう。

9月の予定

- 1日（水）めだかルーム 9：00～11：30
- 3日（金）図書館出前講座②
- 6日（月）防災出前講座（起震車体験）
- 8日（水）あひるルーム 9：00～11：30
- 10日（金）ふれあい遊び ※午後閉館（清掃・消毒）
- 13日（月）体育館で遊ぼう 9：30～11：00
場所：市民スポーツセンター（サンワーク）
- 15日（水）うさぎルーム 9：00～11：30
- 21日（火）誕生会
- 24日（金）ふれあい遊び ※午後閉館（清掃・消毒）
- 27日（月）発育測定・育児相談 保健師・栄養士来所
- 28日（火）親子で楽しいリズム遊び

こんにちは、市長です

空振りを恐れず

10年程前の話です。台風26号が伊豆大島を襲い、土石流が発生。多くの尊い命が失われました。当時は、避難情報に明確な基準がなく、役場が避難勧告を出さなかったことが問題とされました。政府はこれを重く見て、翌年、避難勧告を出すための明確な基準を盛り込んだ指針を策定しました。そのとき言われた言葉は「結果的に災害が発生しなくても『空振りを恐れず』に避難勧告や避難指示を出すべき」というものでした。しかし、その後大きな水害や土砂災害が毎年発生しては多くの犠牲者が出たため、政府は指針を見直し、今年5月からは「避難勧告」を廃止し、「避難指示」に一本化。情報をシンプルにして、できるだけ早い避難を呼びかけるようにしたのです。

先月3日に熱海で土石流が発生しました。ここ下田市でも1日の朝に避難指示を発令。市内6か所で避難所を開設して、崖のそばなど危険な

10年程前の話です。台風26号が伊豆大島を襲い、土石流が発生。多くの尊い命が失われました。当時は、避難情報に明確な基準がなく、役場が避難勧告を出さなかったことが問題とされました。政府はこれを重く見て、翌年、避難勧告を出すための明確な基準を盛り込んだ指針を策定しました。そのとき言われた言葉は「結果的に災害が発生しなくても『空振りを恐れず』に避難勧告や避難指示を出すべき」というものでした。しかし、その後大きな水害や土砂災害が毎年発生しては多くの犠牲者が出たため、政府は指針を見直し、今年5月からは「避難勧告」を廃止し、「避難指示」に一本化。情報をシンプルにして、できるだけ早い避難を呼びかけるようにしたのです。

先月3日に熱海で土石流が発生しました。ここ下田市でも1日の朝に避難指示を発令。市内6か所で避難所を開設して、崖のそばなど危険な

7月のできごと

- 7日 夏期海岸対策協議会総会
- 10日 出張コミカレ in 下田
- 11日 市職員採用試験
- 13日 夏期海岸対策協議会原田支部安全祈願祭
- 14日 アメリカ代表サーフィン応援旗贈呈
- 17日 白浜海の祭典 納涼花火大会
- 市民文化会館「THE BON 踊り」
- 20、21日 市内小中学校終業式